

まちの日記帳



元気に育ってね

8/20

ヒラメ資源の増大を目指し日本海沿岸海域の漁業協同組合が連携し進めているヒラメ稚魚の放流が行われました。

この日は北海道栽培漁業振興公社羽幌事業所で栽培された体長7cmほどの稚魚5万2千尾が東しゃこたん漁協に到着。地元漁業者らによって美国漁港沖に3万9千尾、幌武意漁港沖に1万3千尾が放流されました。

「大きく育てよ。」と願う漁業者らに見守られ、大海原に放たれた稚魚たちは、広い海の中を元気に泳ぎだしていきました。



新たな観光ルート拡大を

8/22

東アジア地域からの観光客誘致を目的とした海外マスコミ招へい事業（北海道国際観光テーマ地区推進協議会主催）が町の要請を受け行われ、シンガポールと香港のマスコミ関係者4人が訪町しました。

前日ニセコ町や倶知安町を訪問した一行は、シーサイド余別に宿泊。絶好の観光日和となったこの日は、神威岬や島武意海岸などを視察し、夏の青空に負けない鮮やかな積丹ブルーの海に興味を示し感嘆の声を上げながら、次々とカメラに収めていました。

これら取材内容は、同国で発行される雑誌等で紹介される予定となっています。



夏の終わりにビールで乾杯

8/23

町を盛り上げようと町商工会青年部主催のビアガーデンに町商工会女性部、積丹ジュニアスイミングクラブが協力のもと美国町憩いの広場で行われ、町内外から訪れた人たちはザンギや焼きそば、ゆでエビなどをつまみながら、夏の終わりを惜しむかのようにビールを酌み交わしていました。

中でも町商工会女性部のおでんは好評で、用意した約300食は早々に完売する盛況ぶりでした。また、前売券には協賛した飲食店でビール、ソフトドリンクどちらか一杯のサービス券もついており、ビアガーデン終了後も飲食店に場所を移し盛り上がり、町は賑わいを見せていました。



ストック使い介護予防

9/1

町地域包括支援センター主催の介護予防教室「ノルディックウォーキング」が余別町で行われ、地区住民10人が参加しました。

2本のストックポールを両手にもって行うウォーキングで、歩行姿勢の矯正や足腰の負担軽減など幅広い年齢層で楽しめるのが特徴。

参加者は、町教委職員の指導のもとそれぞれのスピードで歩行リズムを刻みながら、遊歩道を散策。森林浴を楽しみながら約3kmをウォーキングし、戻ってきた時には顔を紅潮させ心地よい汗を流していました。



弦楽器の響きに酔いしれ

9/2

プロの音楽家が小規模校を対象に行っているクラシックコンサート「あすなろコンサート」が幌武意小学校で行われ、同校と入舩小学校の児童のほか地区住民ら約30人が弦楽器の響きに聞き入りました。

「乾杯の歌」(ヴェルディ)や童謡「まっかな秋」、また児童からのリクエスト曲のアニメ映画「崖の上のポニョ」のほか「翼をください」や校歌などは子どもたちも一緒に太鼓やタンバリンなどで演奏したり歌ったりして楽しみました。



俳句を作ってみよう

9/7

自然と親しみ、表現力や想像力を養うことを目的に少年教室「俳句教室」(町教委主催)が行われ、町内の児童17人が参加しました。

美国踏青俳句会の成田智世子会長を講師に、「俳句と遊ぼう」を合い言葉に、成田会長から俳句の基本について説明を受けたあと、子どもたちは俳句の題材を探すため黄金岬や草木を観察しました。その後、一人ひとり短冊に探索してきた感想を俳句の5・7・5の言葉に表現し作品づくりに取り組みました。

参加者の中には初めて俳句を作る子も多く、俳句独特の言葉の置き換えに四苦八苦しながらも子どもたちは楽しい一時を過ごしました。

